

2017年7月

Klark Yoshid の校長室だより 2017年(2)

～中学入試に英語導入～



校長 吉田幸一

静岡英和女学院のホームページ“校長室だより”によるこそ！

今回は、中学校の入学試験に英語を導入することを題材として、英語教育に定評のある「英語の英和」について説明いたします。



中学校入試における英語試験について

従来の「国語、算数型試験」に加え、選択制で「国語、算数・英語型試験」を導入します。静岡県の私立中学校の入試においては、初めての試みとなります。

2018年度中学校入試に英語を導入した背景は次の通りです。

- ①2018年度より小学校の5年、6年で英語の教科化が一部試行的に前倒しされることが予想され、英会話スクール等へ通塾する小学生の数が増える傾向にあります。
- ②2020年度から大学入試の英語試験に民間の試験が導入され「読む、書く、聞く」の3技能に加え「話す」を加えた4技能を測定する試験に移行していくこととなります。
- ③英語教育に関心が高まっています。中学校や高等学校で話せる実践的な英語教育を希望する保護者が多くなってきています。

こうした社会背景と受験動向をふまえ、本校は2018年度中学校入試に英語を先取りして取り入れることにしました。

1887年の建学以来、静岡英和女学院は「英語の英和」といわれ、英語教育には定評を博してまいりました。大学入試に対応した筆記試験の学習のみではなく、実践力を習得するために話せる英語力の育成に重点を置いています。さらに、全員参加型の語学研修やスタディーツアーを実施し、短期・長期の留学制度を設け、グローバル教育の充実に今まで以上に努めております。

「英語の英和」といわれる静岡英和女学院に是非ともご期待ください。